スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

【三重県志摩市】
令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
（運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

自治体名	三重県志摩市
担当課名	教育委員会事務局　生涯学習スポーツ課
電話番号	0599-44-0339

1．自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

人口	45,114人	部活動数	38部活
公立中学校数	6校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
公立中学校生徒数	933人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

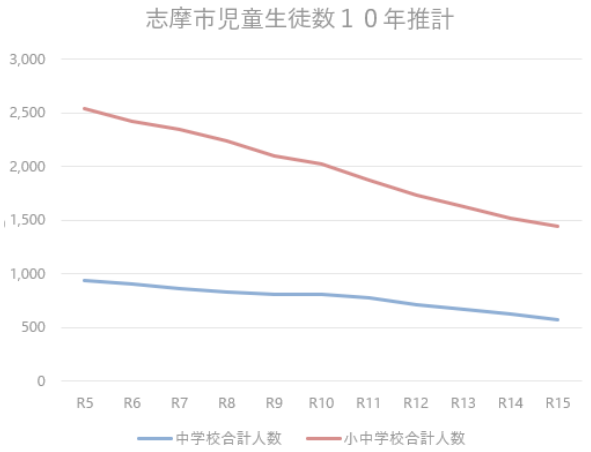
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

志摩市には、中学校が6校あり、全生徒数は、令和5年度は943名が在校している。今後の生徒数推移としては、令和7年度には900名以下の状況となり、そこから5年以内には800名以下になることが予想されている。

現在、市内6校の部活動は38部活あるが、市町村合併前の町エリアに１～２つの中学校が点在しており、中学校によっては部活動数が多く学校、少ない学校と差があり、運動部活動については８種目、文化部活動については２種目の計10種目の選択肢があるが、生徒数の多い学校は、10種目選択できるのに対し、生徒数が少ない学校は、2種目で個人種目のみしか選択できない状況となっている。

当市は多くの海や湾が入り組んだリアス海岸の地形であることから学校が点在しており、拠点を設けて活動する際も「移動時間」、「移動手段」が1番の課題となっている。また、学校部活動と地域クラブ活動との差となる「受益者負担」については、保護者としてメリットが見出せない場合は部活動に取り組む子どもがさらに減少することを懸念している。「指導者確保」についても、総合型地域スポーツクラブや市スポーツ協会、市スポーツ少年団など各種団体と連携して取り組む必要がある。

地域連携・地域移行することで子どもたち・保護者がいかにしてメリットや楽しさを認識してもらえる環境を確保していかなければならない。



令和　5　年度　市内中学校(1・2年生) 部活動所属状況　　2023年7月28日現在

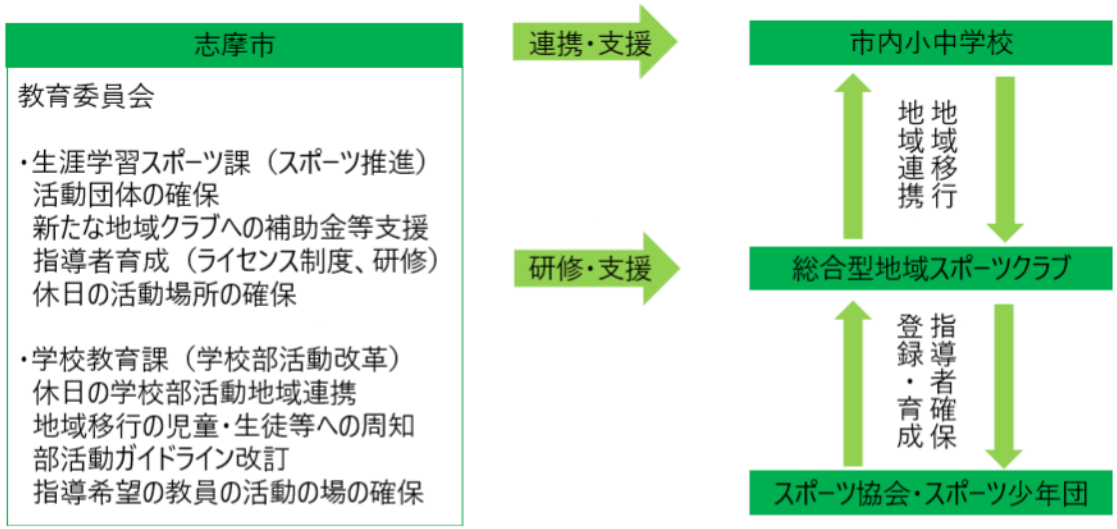
令和 5 年 7 月現在	志摩中学校				大王中学校				東海中学校				文岡中学校				浜島中学校				磯部中学校				市内競技別部員数
	1年		2年		1年		2年		1年		2年		1年		2年		1年		2年		1年		2年		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
野球	7	0	3	0	3	2	6	0	2	1	11	0	10	0	6	0					6	0	2	0	59
サッカー													6	1	6	0					0	0	0	0	13
バスケット	5	0	7	0					3	9	4	4	12	3	7	5					11	0	8	0	78
バレーボール	0	5	0	5	0	7	0	6					10	7	1	6					0	8	0	4	59
陸上	6	4	11	4									9	8	7	5					1	4	1	4	64
ソフトテニス	0	4	0	4					0	3	0	3	3	5	25	17	2	0	2	3					71
卓球	3	5	5	3	11	4	6	3	9	0	7	0	19	9	3	3	4	1	2	0					97
バドミントン													0	12	0	11					2	3	3	6	37
剣道	0	5	0	7					0	4	3	4	2	5	1	7					1	1	0	3	43
ブラスバンド									1	6	3	6	3	11	2	4					0	4	0	3	43
男女別合計	21	23	26	23	14	13	12	9	15	23	28	17	74	61	58	58	6	1	4	3	21	20	14	20	564
学年総計	44		49		27		21		38		45		135		116		7		7		41		34		

2．実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（生涯学習スポーツ課・学校教育課）
  - ・活動団体の確保
  - ・新たな地域クラブへの補助金等支援
  - ・指導者育成（ライセンス制度、研修）
  - ・休日の学校部活動地域連携・地域移行の児童・生徒等への周知
  - ・部活動ガイドライン改訂（令和5年度以降）
  - ・指導を希望する教員の活動の場の確保
  - ・休日の活動場所の確保
- **市長部局**（財政課）
  - ・予算措置

年間の事業スケジュール



2．実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

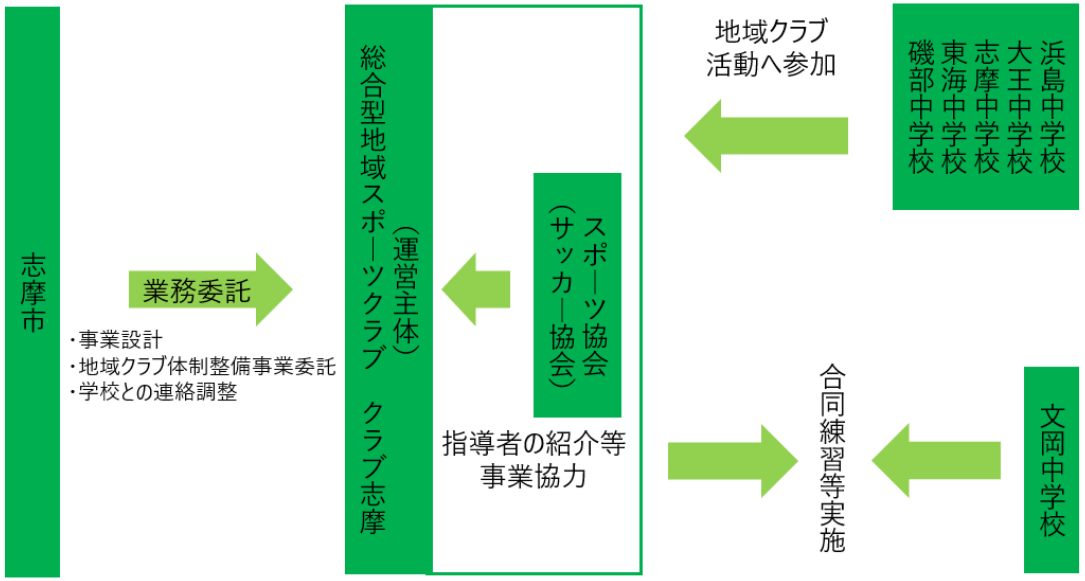
拠点校数	1校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	サッカー
地域クラブ活動に取り組んだ部活動数	6部活		

主な取組例

▼活動概要

拠点校名	文岡中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	6部活
地域クラブ活動で実施した種目	サッカー
運営主体名	総合型地域スポーツクラブ　クラブ志摩
運営類型	地域スポーツ団体等運営型 （総合型地域スポーツクラブ運営型）
１か月あたりの平均的な活動回数	サッカー：月3回程度
指導者の主な属性	総合型地域スポーツクラブ登録指導者
活動場所	志摩市長沢多目的広場　他
主な移動手段	自転車、公共交通機関、保護者送迎　等
１人あたりの参加会費等（年額）	サッカー：39,000円
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項	コーディネーター等を配置し、関係団体・市・学校等の連絡調整・指導助言等を行う。 運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材確保などの組織体制の整備を行う。
取組の成果	コーディネーターについては、学校はもちろんのこと、関係団体等との連絡調整、助言指導を行うことを想定し、行政職員が主体となって課題解決に取り組んだ。 今後、地域移行推進期間以降を視野に入れ、実施主体を教育委員会とし、 令和５年１０月に「志摩市学校部活動在り方検討会」の第１回を開催して、 現状や今後の展望など情報共有し、全体的な課題に向けて取り組んだ。
特に工夫した事項	将来的な視点で、現状の学校部活動とモデル事業として地域移行をしている総合型地域スポーツクラブと休日に限り合同練習することで、今後サッカー種目の学校部活動を廃部として終わらせるだけでなく、希望する子どもが活動できる場を確保するための環境整備として、生徒や保護者、この先活動を希望する小学生児童や保護者に向けて実際の活動を通じて周知を行った。
今後の課題と対応方針	現在は、サッカー１種目をモデルとして取り組んでいるが、学校部活動が現状ある部活動については、地域移行することで生徒たちに多大な負担がかかることが予想されることから、推進期間以降の地域移行に向けた取り組み方針が必要と考えている。今後については、「志摩市学校部活動在り方検討会」において、方向性を示していく必要がある。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

取組事項	県の人材バンクを活用し、指導者を確保する。 体育・スポーツ協会・競技団体・企業等と連携し指導者を確保する。
取組の成果	現在のモデル事業であるサッカー種目については、指導者の繋がりやスポーツ協会、スポーツ少年団など関係団体を通じて連携し、確保することができた。 指導者の質の確保については、県の研修動画などを活用して一定の水準を保つことができた。
特に工夫した事項	報酬等、ボランティアで活動してきた習慣が慢性化していたため、指導者が報酬をもらうための報酬と言われることが多々あったが、指導者の価値向上のために、時間はかかるが丁寧な説明を継続して取り組んだ。
今後の課題と対応方針	指導者の質は、地域移行後どの水準を保っていくのか、ガイドライン等での制定が必要となる。また、人員確保については、動画研修など共通事項、各種目別にも配信があれば、いつでも気軽に学ぶことができるので、「時間」と「費用」については指導者確保に大きなポイントとなると考える。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項	指導者の派遣、研修教材の提供・講師派遣などについて連携する。 地域の公共交通サービスやスクールバスなどによる送迎サービスを活用して生徒の送迎を行う。
取組の成果	各競技団体として、サッカー協会が独自の研修で講師派遣等して開催に取り組んだが、他の種目と連携して取り組むことができず、偏った種目の内容で開催となった。 地域の公共交通を使用し、部活動と地域スポーツクラブと合同練習をする際に公共交通の利用して実施した。
特に工夫した事項	地域スポーツクラブの活動場所の確保や合同練習など、既存の活動場所の調整等もあり、理解を求めることも多々あったことから、公共交通の時刻表や立地も含めて行政主導で関わって取り組んだ。
今後の課題と対応方針	公共交通機関の活用には、利用する子どもたちの行動する時間帯も早くなり、バス、タクシー会社との調整も必要となってくる。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：オ：内容の充実

取組事項	学校部活動にない競技の地域スポーツ化を図り、様々なスポーツに親しむ機会の確保に取り組む。
取組の成果	中学校によっては、学校部活動数が少なく、部活動で取り組めない競技スポーツを親しむ機会を創出するため、総合型地域スポーツクラブが主となって取り組んでいるが、学校から離れた総合型地域スポーツクラブへの移動や活動時間、部活動以外でも活動したいと思う意欲促進には繋がらなかった。
特に工夫した事項	総合型地域スポーツクラブからSNSなどWEB上での情報発信等、積極的な情報発信に取り組んだ。
今後の課題と対応方針	学校単位で活動を終えてしまうのではなく、生涯通じて活動できるよう楽しめる環境の確保が必要である。

2．実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

取組事項	地域スポーツクラブ活動に参加する困窮世帯に対して、必要な経費を支援する。 企業等からの寄付など多様な財源の在り方の検討を行う。
取組の成果	民間企業等からの協力を得て必要経費を支援できるよう、商工会など経済団体を通じて、民間から支援いただくよう依頼した。
特に工夫した事項	「志摩市学校部活動在り方検討会」の委員に商工会長を選任し、経済団体を通じた連携・支援等を想定し、連絡調整できるように取り組んだ。
今後の課題と対応方針	地域移行になる際は、受益者負担が必ず必要となり、活動に取り組む子どもがさらに減少することが予想されることから、適正な価格設定や資金面での支援を検討していかなければならない。

2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

取組事項	学校の備品等を使用して、地域スポーツクラブの活動を実施する際の利用ルールを策定する。
取組の成果	学校の施設や備品等を使用できるよう行政職員が主体となり、移行する際の備品の確認や使用等について取り組んだ。
特に工夫した事項	総合型地域スポーツクラブとの関わりがほとんどないことから、行政職員が主体的に関わることで、学校関係者は安心して備品等を引き継ぐことができる。
今後の課題と対応方針	移行する種目が増えることで各学校毎のルール等も違いがあるので、市全体のルール設定が必要である。

2．実証内容と成果

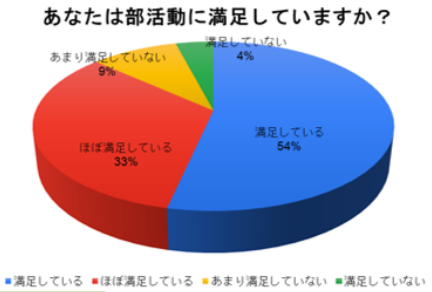
スポーツ庁

参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

昨年実施したアンケート結果によると・・・

「休日部活動地域移行についてのアンケート集計」
＜対象者：**市内中学校　１・２年生**＞
＜回答数：４９６人＞

【問】あなたは部活動に満足していますか。



満足している	**２６５人（54%）**
ほぼ満足している	１６５人（33%）
あまり満足していない	４６人（9%）
満足していない	２０人（4%）

○満足している　主な理由
・先輩が、優しく、教えてくれて嬉しいし、楽しいから。
　みんなと演奏したりするのは楽しいから
・個人競技だけれど、励まし合いができるから。
・部活は楽しいし技術も身につくから新しいことができたときに
　達成感もあるから

○ほぼ満足している
・楽しいし、やりがいがあるけど、まだちょっとできないことがあるからです
・今の部活は楽しいけど、そのスポーツよりも好きなスポーツがあるから。
・金曜日で疲れていたりして、土曜日ゆっくり寝たいというときは、早くに準備していかないといけないから。

○あまり満足していない　主な理由
・自分がやりたい部活じゃないから。
・試合に出られないから。
・コーチが好きじゃないから、顧問が苦手。
・人間関係が少し難しいと思う。

○満足していない
・出る人中心の練習だから
・入りたい部活ではなかったから。
・同じ練習を毎日繰り返しているだけで楽しくない。
　自分が強くなっている気がしない。
・部活をせずに違うスポーツをしているから

昨年実施したアンケート結果によると・・・

「休日部活動地域移行についてのアンケート集計」
＜対象者：**市内小学校　４・５・６年生**＞　＜回答数：８４４人＞
【問】中学生になったら放課後に どのような 活動をやってみたい活動は何ですか。（複数回答可）

＜運動部活動＞

1	バドミントン	(250)	11	陸 上	(70)
2	バスケットボール	(200)	12	硬式テニス	(52)
3	バレーボール	(186)	13	ボクシング	(52)
4	卓 球	(185)	14	硬式野球	(51)
5	ダンス	(173)	15	剣 道	(44)
6	スイミング	(156)	16	ソフトボール	(42)
7	サッカー	(146)	17	柔 道	(27)
8	ソフトテニス	(144)	18	合気道	(25)
9	体力づくり	(123)	19	ラグビー	(17)
10	軟式野球	(77)	20	相 撲	(16)

＜文化部活動＞

1	プログラミング	(213)
2	写 真	(192)
3	美 術	(190)
4	演 劇	(85)
5	ブラスバンド	(73)
6	合 唱	(66)
7	料 理	(13)
8	eスポーツ	(11)

【志摩市学校部活動在り方検討会　資料抜粋】

2．実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和2年	令和３年	令和４年	令和５年
総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会設置、検討開始	総合型地域スポーツクラブ「クラブ志摩」設立	地域クラブ活動の移行準備開始	総合型地域スポーツクラブ内容共有、活動拠点選定等	地域クラブ活動の地域移行モデル検証
●ステークホルダー 大王サッカースポーツ少年団 ●経過 団員減少と大王中サッカー部の部活動廃部 ●実施にあたって生じた課題 大王地区だけでなく、阿児地区も総合型地域スポーツクラブがなかったことから、エリアカバーできるよう両地区を含めて設立を進めた。 ●実施内容、工夫した点　等 設立準備会には、市、スポーツコミッションも入り、将来展望を含めて協議した。	●ステークホルダー 大王阿児地区総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会 ●経過 サッカーをする子どもたちの受皿、環境確保 ●実施にあたって生じた課題 大王・阿児地区のサッカー種目を希望する子どもたちの受皿になるだけでよいのか ●実施内容、工夫した点　等 総合型地域スポーツクラブが立ち上がるまで、市が介入して流れを作ることとした。	●ステークホルダー 志摩市教育委員会 ●経過 総合型地域スポーツクラブが市内全地区をカバーできたことから総合型地域スポーツクラブ連絡会議を開催して協議 ●実施にあたって生じた課題 スポーツ庁・文化庁からの提言による情報認知不足、指導者や地域クラブの受入体制ができていないこと ●実施内容、工夫した点　等 市の方針を情報共有した。	●ステークホルダー 志摩市教育委員会 学校部活動在り方検討会 ●経過 サッカー種目をモデル事業として休日の部活動地域移行をモデル事業として実施・検証 ●実施にあたって生じた課題 学校部活動は現行存続している部活動がほとんどで、移行期間を設けないと子どもたちが混乱を招くことから既存の学校部活動との受け渡し等調整が必要 ●実施内容、工夫した点　等 学校関係者・保護者・経済団体・スポーツ団体などを検討会に取り込み、地域課題として地域で解決することと認識させた。

3．今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ

志摩市・志摩市教育委員会　部活動改革スケジュール（案）

